

温室効果ガス排出状況

平成22年度調査結果

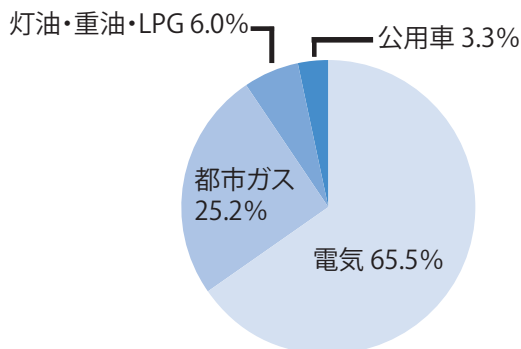
市内公共施設など

市では、平成14年度に「羽曳野市地球温暖化対策推進実行計画」を策定し、市の各公共施設などの事務事業によって排出される温室効果ガスの排出量を平成22年度で、平成13年度比11%削減を目標に取り組みを進めています。市ではこれまでの進捗状況を把握するため、平成22年度の温室効果ガス排出量の調査を行いました。

2. 平成22年度の温室効果ガス排出量

	平成22年度 (kg-CO ₂)
ガソリン	133,772
軽油	92,578
灯油	222,749
A重油	13,088
液化石油ガス	198,275
液化天然ガス	8,797
都市ガス	1,838,704
電気	4,785,125
自動車の走行	5,308
カーエアコン	2,711
計	7,301,107

平成22年度燃料別消費割合



平成21年度の排出係数を用いた市の事業実施に伴う平成22年度の温室効果ガス排出量は年間で7,300トン、そのうち約66%が電気、約25%が都市ガスの使用によるものです。

1. エネルギーの使用量など

表1 エネルギーの使用量など (年間)

	平成13年度	平成22年度	増減
燃料使用量	ガソリン L	77,127	57,619 ▲19,508(-25.29)
	軽油 L	45,453	35,814 ▲9,639(-21.21)
	灯油 L	95,014	89,476 ▲5,538(-5.38)
	A重油 L	7,700	4,830 ▲2,870(-37.27)
	液化石油ガス (LPG) kg	90,730	66,116 ▲24,614(-27.13)
	液化天然ガス (LNG) m ³	0	3,255 3,255
	都市ガス m ³	959,573	823,045 ▲136,528(-14.23)
電気使用量 kWh	17,421,389	16,275,937 ▲1,145,452(-6.57)	
公用車走行距離 km	713,469	671,441 ▲42,028(-5.89)	
HFC-134a封入カーエアコンの使用 (年間) 台	131	139 8 (6.11)	

平成22年度の温室効果ガスに関連するエネルギー別の使用量などは、表1のとおり、ほとんどのエネルギーの使用量が大幅に削減されています。

3. 温室効果ガスの平成13年度と平成22年度の比較

平成13年度と平成22年度のエネルギー使用などに起因する温室効果ガス排出量を比較するために、平成11年度の排出係数を用いて、排出量を比較すると、平成22年度は平成13年度に比較して9.43%削減していることがわかりました。

表2: エネルギー使用などに起因する温室効果ガス排出量の比較 (単位: kg-CO₂)

	平成13年度	平成22年度	
燃料使用	ガソリン	178,163	133,100
	軽油	119,995	94,549
	灯油	238,484	224,585
	A重油	21,329	13,379
	液化石油ガス (LPG)	274,003	199,670
	液化天然ガス (LNG)	0	9,081
	都市ガス	2,063,082	1,769,547
電気使用	6,219,435	5,810,510	
自動車の走行	5,007	4,643	
HFC-134a封入カーエアコンの使用 (年間)	2,554	2,711	
合計	9,122,052	8,261,775	
増減 (%)	-	▲860,277(-9.43)	

注) () は、平成13年度の排出量に対する増減の百分率を示しています。

問合せ：環境衛生課 環境担当 ☎958-1111【内線2830】

3月4日(日)

やすらぎとふれあいの水辺
「石川」の自然を守ろう!

第25回 石川クリーン大作戦



市は環境美化促進のため、各種団体や市民の皆様のご協力をいただいて石川の清掃を行っています。また今年度も、大和川・石川クリーン作戦が同時に催され、大規模な清掃活動が実施されます。ゴミを拾いながらの河川敷散策にご家族、友人のグループなど、皆様のご参加をお願いします。参加していただける方は、清掃作業のできる服装や長靴をはき、各会場へご参集ください。

なお、清掃活動に危険を伴うときは中止しますが、小雨時でも決行します。本部古市会場(9:30)では集合時間の30分前から受付を開始します。古市会場以外には駐車場はありません。

問合せ：☎958-1111 環境衛生課 (内線2830) / 下水道建設課 (内線2322)

